© ChatGPT

1. はじめに

1.1 目的

本設計書は、MRPAF (Multi-Resolution Pixel Art Format) v2.0.1 に準拠したリファレンス・ピクセルアートエディタの設計をまとめることを目的とします。

1.2 背景

従来のピクセルアートツールは大型・高機能化が進み、小規模作品向けの軽量かつ柔軟な編集体験が求められています。本エディタはMRPAFの強みであるマルチ解像度レイヤー/サブピクセル座標/JSONベース拡張性を活かし、小規模ドット絵アーティストのワークフローを支援します。

2. 範囲 (Scope)

- MRPAF v2.0.1 のスキーマに準拠したファイルの読み書き
- マルチ解像度レイヤーレンダリング
- •基本的なピクセル編集ツール (ペン、消しゴム、バケツ塗り)
- ・レイヤー管理(追加/削除/順序入替/可視・ロック/不透明度)
- 背景画像レイヤーの読み込み・表示
- ズーム/パン/グリッド
- Onion Skin、Symmetry、ブラシプリセット
- アニメーションプレビュー (timeline)
- PNG/GIFエクスポート

3. システム概要

- Monorepo構成
- packages/core: MRPAF型定義・JSON Schema検証・IO
- packages/renderer: Canvas/WebGL合成エンジン
- packages/editor: React UIコンポーネント
- •配布形態: Web版(PWA) + Electronデスクトップ版

4. 機能要件

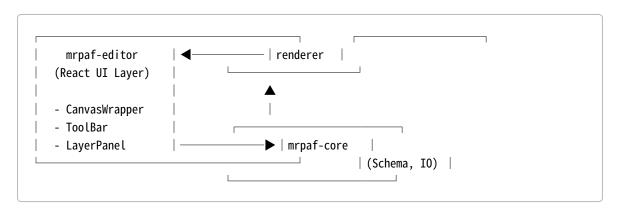
機能カテゴリ	機能名	詳細
ファイルIO	読み込み	.mrpaf.json / MessagePack バイナリのロードと検証
	書き出し	編集後データのJSON化・Validation
描画	レイヤー合成	マルチ解像度・サブピクセル対応
編集	ペン/消しゴム	1ドット単位の描画
	バケツ塗り	Flood Fill
レイヤー管理	追加/削除/並び替え	ドラッグ&ドロップ対応

機能カテゴリ	機能名	詳細
	可視・ロック・不透明度	UI上で即時切替
背景画像	PNG読み込み	Data URI/URL指定、opacity調整、ロック
操作支援	Onion Skin	前後フレーム透過重ね
	Symmetry	水平・垂直ミラー描画
	ブラシプリセット	マスク形状登録
プレビュー	アニメーションタイムライン	再生・停止・速度調整
エクスポート	PNG/GIF	単一画像・スプライトシート・アニメGIF

5. 非機能要件

- ・パフォーマンス: レイヤー数5、解像度合計512×512程度までリアルタイム操作可能
- •起動時間: デスクトップ版で3秒以内
- 対応OS: Windows/macOS/Linux
- •拡張性: プラグイン機構を想定し、将来的な機能追加が容易

6. アーキテクチャ



7. データモデル

MRPAF インターフェース
version, metadata, coordinateSystem, canvas, palette, layers[], editorSettings[]
Layer 型
共通: id, type, visible, locked, opacity
pixel: pixels (ArrayData/RLE/Sparse)
image: source.uri, width, height

8. UIフロー

- 1. アプリ起動 → 空白キャンバス表示
- 2. File > Open → | .mrpaf. json | 選択 → Schema検証 → レイヤー/キャンバス初期化
- 3. レイヤーパネルで背景レイヤー追加 (PNG)
- 4. ツールパネルでペン選択 → キャンバスクリックで描画
- 5. Timelineタブでアニメーション再生確認

9. スケジュール概略

フェーズ	期間	主な成果物
設計	1週間	本設計書
基本実装	2週間	core+renderer PoC, Canvas表示
UI統合	3週間	editor: ファイルIO, 基本ツール
機能追加	4週間	OnionSkin, Symmetry, Export
テスト&CI	2週間	Unit/E2Eテスト, CI設定

10. 今後の拡張候補

- •ブレンドモード・エフェクト
- DitheringProfiles
- Slice/AnimationTags/Hotspots
- コラボコメント・履歴機能

以上がMRPAF準拠ピクセルアートエディタの設計書案です。具体的な実装に向けてご活用ください!